

PRESS RELEASE



黒田泰蔵 白磁

TAIZO KURODA White Porcelain

January 12 — April 9, 2019

Vangi Sculpture Garden Museum

2019年1月12日[土] — 4月9日[火]

ヴァンジ彫刻庭園美術館

開館時間：1月10:00-16:30 / 2-3月10:00-17:00 / 4月10:00-18:00

[入館は閉館の30分前まで] 休館日：水曜日 入館料：1-3月 大人1,000円(900円)

高・大学生500円(400円) / 中学生以下無料 4月 大人1,200円(1,100円)

高・大学生800円(700円) / 中学生以下無料 ()内は20名様以上の団体割引

主催：ヴァンジ彫刻庭園美術館

《白磁 梅瓶》2018年 ©Taizo Kuroda Photo: Tadayuki Minamoto Design: Katsuhiro Kinoshita

黒田泰蔵 白磁

TAIZO KURODA White Porcelain

会 期 | 2019年1月12日(土) - 4月9日(火)

主 催 | ヴァンジ彫刻庭園美術館

開館時間 | 1月 10:00-16:30 / 2・3月 10:00-17:00 / 4月 10:00-18:00 (入館は閉館の30分前まで)

休 館 日 | 水曜日

入 館 料 | 1-3月 大人 1,000円(900円) / 高・大学生 500円(400円) / 中学生以下無料

4月 大人 1,200円(1,100円) / 高・大学生 800円(700円) / 中学生以下無料

※()内は20名様以上の団体割引

会 場 | ヴァンジ彫刻庭園美術館

陶芸家・黒田泰蔵が轆轤ろくろと出会い、約半世紀の後に辿り着いた究極の白磁
美術館で初となる個展で、白磁の純粹な美しさに触れる

空間に溶け込むように静謐せいひつでありながら、緊張感あふれる
力強さをもつ陶芸家・黒田泰蔵の白磁。ヴァンジ彫刻庭園美術館では、国内外の主要な美術館にコレクションされ、世界的に活躍する黒田の美術館では初となる個展を開催いたします。1966年、20歳の若さでパリに渡り、のちの人間国宝となる陶芸家の島岡達三と運命的な出会いを果たした黒田は、カナダで陶芸を始めました。日本に帰国した後も、黒田はさまざまな技法で精力的に作陶に携わっていきませんが、45歳の時、「轆轤成形、うつわ、単色」という3つの条件を自身に定め、白磁のみの制作に傾注していきます。

本展覧会では、轆轤に初めて触れてから約半世紀の後に辿り着いた白磁の現在を、円筒や梅瓶、花入、台皿といった数々の優品により展観します。磁土との対話の中、個を極限まで消していくことで純化された白磁がみせる抽象の世界。轆轤の回転が生み出す柔らかかで張りのあるフォルム、釉薬を用いず、焼締め後に磨かれた表面の艶やかな陰影、宙空へと薄く挽き上げられた口縁など、その美しさの特質には枚挙にいとまがありません。1981年の帰国後より伊豆に窯を構え、以来40年近く静岡の地でうつわの可能性を追求し続けてきた黒田の究極の白磁を、ぜひご堪能ください。

“白磁に決めたのはその美しい抽象形態を一番損なわず、感情、感覚、考えまでが、気持ちの良い整理された言葉のように保たれると思ったからです。” 黒田泰蔵「白磁について」より



上 《白磁 花入》2018年
© Taizo Kuroda / Photo: Tadayuki Minamoto
下 アトリエ風景
© Taizo Kuroda / Photo: Tadayuki Minamoto

作家紹介 | About the artist

黒田 泰蔵 Taizo Kuroda

- 1946年 滋賀県能登川町に生まれる
- 1966年 渡仏、パリに1年間滞在
のちに人間国宝になる陶芸家・島岡達三と出会う
- 1967年 ニューヨークを経てカナダ・ケベック州へ
島岡の紹介で陶芸家・ゲータン・ポーダンに師事し、陶芸を始める
この間2度帰国し、益子の島岡の元で勉強
- 1975年 カナダ・モントリオールの製陶会社SIALにデザイナーとして勤務
- 1978年 カナダ・ケベック州セントガブリエルにて築窯
- 1981年 帰国、伊豆松崎町にて築窯
- 1991年 伊東市富戸に築窯
- 1992年 初めて白磁作品を東京で発表。以後白磁のみ制作し、現在に至る
- 2015年 作品集『黒田泰蔵 白磁』（求龍堂）刊行
- 2017年 『黒田泰蔵 白磁へ』（平凡社）刊行

これまで個展を、阪急うめだ本店美術画廊（大阪）、日本橋三越本店美術特選画廊（東京）、日本橋高島屋美術画廊（東京）、谷松屋戸田商店（大阪）、吉井画廊（東京）、Kaikai Kiki Gallery（東京）（谷松屋戸田ギャラリー共催）をはじめ多数開催。主な企画展に、「革新の工芸－“伝統と前衛”、そして現代－」（東京国立近代美術館、2016年）、「シンプルなかたち展：美はどこからくるのか」（森美術館、東京、2015年）、「現代の日本工芸展」（The Morikami Museum and Japanese Gardens、フロリダ、2013年）、「現代の名腕」（菊池寛実記念 智美術館、東京、2013年）、「現代の工芸、今－いつつの言葉－」（楽翠亭美術館、富山、2013年）など。主な美術館コレクションに、東京国立近代美術館（東京）、クリーブランド美術館（オハイオ）、ブルックリン美術館（ニューヨーク）、ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン）、Dia:Beacon（ニューヨーク）など。



Photo: Tadayuki Minamoto

展覧会の見どころ | Exhibition highlights

世界的に知られる黒田泰蔵の美術館で初となる個展

本展覧会は、クリーブランド美術館（オハイオ）やブルックリン美術館（ニューヨーク）、ヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン）など、国内外の主要な美術館にその作品がコレクションされ、世界的に知られる黒田の美術館で初となる個展です。

円筒や梅瓶、花入、台皿など白磁の最新作を多数展示

「轆轤成形、うつわ、単色」という3つの条件を、45歳の時に自身で定めた黒田は25年以上もの間、白磁のみを制作してきました。本展覧会では、黒田の代名詞といえる円筒をはじめ、梅瓶や花入、台皿などさまざまな白磁の最新作を多数展示いたします。

伊豆の作家アトリエ風景を収録した展覧会カタログ

会期中には、展覧会カタログを刊行いたします（2月下旬頃予定）。カタログには、美術館の展示風景や出品作品の図版だけでなく、40年近く伊豆に窯を構え制作してきた作家の貴重なアトリエ風景を収録します。



上下 アトリエ風景
ともに © Taizo Kuroda / Photo: Tadayuki Minamoto

関連イベント | Related events

学芸員によるギャラリートーク

会場にて担当学芸員が展覧会概要と作品の解説を行います。

日時：毎週土曜日 14:15-(約30分)

料金：当日の入館料のみ

会場：ヴァンジ彫刻庭園美術館

予約方法：申込不要

(当日の観覧券をお持ちのうえ、直接会場にお集まりください)

関連書籍 | Catalogue

「黒田泰蔵 白磁」展覧会カタログ

ヴァンジ彫刻庭園美術館より刊行(2月下旬頃予定)

ブックデザイン：木下勝弘

言語：日英バイリンガル

発行：ヴァンジ彫刻庭園美術館

販売：NOHARA

同時開催 | Exhibition

うつわ茶房 KEYAKI 黒田泰蔵展

クレマチスの丘のうつわ茶房 KEYAKIにて、「黒田泰蔵 白磁」の会期中に他の白磁作品をご覧いただけます。

会期：2019年1月12日(土)~4月9日(火) 11:00-17:00

定休日：水曜日 *3/24(日)は貸し切りにつきご入場いただけませんのでご了承ください

会場：うつわ茶房 KEYAKI (日本料理 tessen 1階)

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 347-1

Tel.055-989-8778 Fax.055-989-8784 www.tessen.jp



左上《白磁 梅瓶》2018年 / 右上《白磁 円筒》2012年
左下《白磁 台皿》2018年 / 右下《白磁 花入》2018年
すべて © Taizo Kuroda / Photo: Tadayuki Minamoto

うつわ茶房
KEYAKI

クレマチスの丘にあるケヤキの緑に囲まれた和食の店、日本料理 tessen1 階にある「うつわ茶房 KEYAKI」。日常の中にある美を大切にしていきたいと考えるクレマチスの丘では、うつわ講座や、うつわと料理の関係性を考える料理教室も開講し、静岡の地でうつわ文化を育むことを目指します。

アクセス | Access

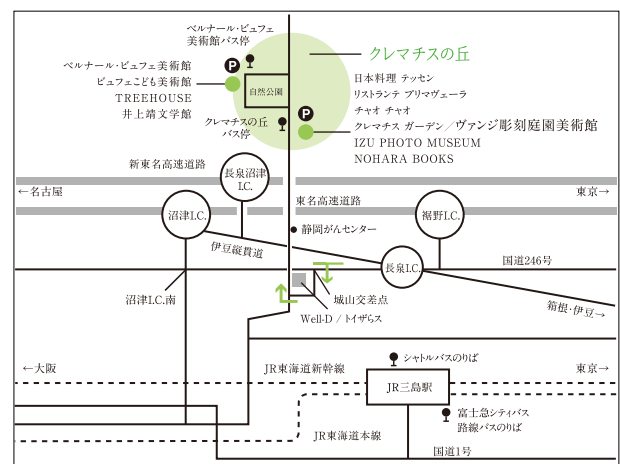
【お車の場合】

東京方面より：東名裾野 I.C.よりR246 経由、沼津方面へ10km

名古屋方面より：新東名長泉沼津 I.C.あるいは東名沼津 I.C.より伊豆縦貫道(東駿河湾環状道路)へ、長泉 I.C. 出口 R246 右折 / 新東名長泉沼津 I.C.より5km

【電車の場合】

JR 東海道線「三島駅」下車、北口(新幹線口)3番乗り場発、無料シャトルバスあり(所要時間約25分)



広報用画像資料 | Press Images

下の画像を広報画像として配布いたします。

ご希望の方は、ご希望の画像にチェックし必要事項をご記入の上、下記宛先までメールまたはFAXくださいますよう、お願いいたします。

- お願い：1. 恐れ入りますが、掲載誌一部をご送付いただきますようお願いいたします。
 2. クレジット表記は画像の下にあるものを表記願います。
 3. ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名

掲載号 発売日／放映日 年 月 日

貴社名 ご担当者様

TEL FAX

E-MAIL

資料お届け期限 月 日 まで

【広報用画像】



《白磁 梅瓶》2018年
 © Taizo Kuroda
 Photo: Tadayuki Minamoto



《白磁 花入》2018年
 © Taizo Kuroda
 Photo: Tadayuki Minamoto

お問い合わせ

展覧会企画担当：森啓輔

E-MAIL: info@clematis-no-oka.co.jp

FAX: 055-989-8790

ヴァンジ彫刻庭園美術館

〒411-0931

静岡県長泉町東野クレマチスの丘 347-1

TEL 055-989-8785

www.vangi-museum.jp